

DUO 2025

Vol.
50
記念号

♪「デュオ」は二重唱（奏）の意味です。

創刊50号によせて 岡山市長 大森雅夫

寄稿

アンコンシャスバイアスに 気づくことから始めよう

「外科医は誰？」～そろそろ古い思い込みを脱ぎ捨てませんか？～

インタビュー

専業主婦から 社長職へ

～社員とともに「100年企業」を目指す～



創刊50号によせて



岡山市男女共同参画情報誌「DUO」が、記念すべき第50号の発行を迎えました。

本市では、平成3年10月、女性の問題に対する啓発を図るために、市民の皆様とともに創る「おかやま女性情報誌『女性のひろば』」を創刊しました。その後、平成8年9月発行の第11号からは、女性のみならず男性にも幅広く情報交換の場として親しんでいただくために、その名称を「男女共同参画社会の実現をめざす情報誌『DUO (デュオ)』」とし、令和となった今日まで、様々な男女共同参画に関わる情報をお届けしています。

創刊から30年以上経過する中で、平成11年の「男女共同参画社会基本法」、平成13年の「配偶者からの暴力の防止及び被害者保護に関する法律」、平成27年の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」など、男女共同参画社会実現に向けて様々な法律や計画が施行されています。また、「DUO」の創刊直後の平成4年に施行された「育児休業法」は、時代の要請に応え何度も改正が加えられ、現在は「育児・介護休業法」となるなど、男女共同参画に関する取組や情勢は絶えず変化し続けています。

本市においては、平成12年に男女共同参画社会の形成を促進する拠点施設として、岡山市男女共同参画社会推進センター(さんかく岡山)を開設しました。男女共同参画社会の実現のためには、市民の皆様一人ひとりが、それぞれの立場や状況の中で、男女共同参画の重要性を理解し、多様な価値観を互いに認め合いながら協働して取り組んでいくことが重要です。

「DUO」は、公募による編集委員の皆様が中心となって作成することにより、市民の目線で男女共同参画について時代の変化などを捉え、市民の皆様知ってほしい情報や、自分事として考えていただきたい課題などをタイムリー、かつわかりやすくお伝えしてまいりました。

これからも、この「DUO」が、すべての市民の皆様へ男女共同参画社会の実現について考えていただくきっかけとなるような、旬な情報をお届けし、皆様に愛読される情報誌として発展していくことを願います。

最後になりましたが、創刊号から50号までの発行にご尽力いただいた歴代の編集委員の皆様をはじめ、取材等にご協力いただいたすべての方々に、心から深く感謝を申し上げます。

令和7年3月
岡山市長 大森雅夫

アンコンシャスバイアスに 気づくことから始めよう

「外科医は誰?」～そろそろ古い思い込みを脱ぎ捨てませんか?～

社会心理学講師
カウンセラー 市場恵子

はじめに、クイズをご紹介します。
ある日、父と息子がドライブに出かけ、交通事故に遭ってしまいました。父は即死。息子は重傷を負い、救急車で病院に搬送されました。患者を診た外科医が驚いて、「私の息子です」と告げました。外科医は誰でしょう?

多くの人は「???」となり、考えた末に「もう一人のお父さん」と答えます。確かに、母親が離婚し、再婚していれば、複数の父親が存在するのでそれも正解です。そこで問います。「女性は外科医になれないのでしょうか?」

少数ながら気が付く人がいます。「あ、外科医はお母さんだ!」と。近年では、「本当はお母さんだけど、性転換して男性になったお父さん」「両親はゲイで、もう一人のお父さん」という答えも返ってくるようになりました。性の多様性に理解が広がったことは喜ばしいのですが、「外科医は男性」という無意識・無自覚な思い込み(アンコンシャスバイアス)からそろそろ脱却してもいいのではないのでしょうか。

私たちは過去の経験にもとづいて目の前の事象を判断したり、推測したりします。しかし、時代の変化を受け入れず、少数の存在に目をふさぎ、古い枠組みに固執していると、その思い込みが「差別」「偏見」となって、他者の人権を侵害することにもなりかねません。

2021年、元首相が日本オリンピック委員会の臨時評議員会で「女性がたくさん入っている理事会の会議は時間がかかります」と発言し、その場では笑ってすまされたものの、海外からの批判を浴び、会長を辞任する事態となりました。彼は他者から指摘されるまで、ご自分の発言に「ジェンダーバイアス(性別に対する差別や偏見)」が含まれていることに気づけなかったのですね。

私たちが「あたりまえ」「ふつう」と思い込んできた「ものの見方・とらえ方」には、自分自身では気づきにくい「歪み(ゆがみ)」や「偏り(かたより)」が生じることがあります。

若い人に「彼氏いるの?」「彼女いるの?」と質問する人がいます。しかし、相手は異性愛者じゃないかもしれません。せめて「好きな人いるの?」「お付き合いしている人はいるの?」という質問に変えて、多様性に配慮したいものです。

もう一つ、「結婚したら女性は夫の姓に変えるものだ」という日本人特有の思い込みについて考えてみましょう。確かに、日本では95%もの女性が結婚後、改姓しています。民法で

「夫婦同姓」と定められているため、どちらかの姓に合わせなくてはならないからです。働く女性が増え、姓を変えたくない人は「事実婚」を貫くか、旧姓を「通称使用」する方法を選んできました。少数ながら男性が妻の姓に変える場合もあります。

私自身は結婚後、戸籍上は夫の姓になり、旧姓を「通称使用」していました。それでも、病院や役所では改姓後の名前で呼ばれるため、居心地が悪く、数年後、話し合っ、今度は夫が改姓しました。彼もしばらく旧姓を「通称使用」していましたが、煩雑なため、次第に戸籍名を使うようになりました。

「選択的夫婦別姓」の民法改正案が1980年代から審議されてきました。しかし、いまだ実現に至っていません。夫婦に同姓を強制するのは日本だけ。国連の女性差別撤廃委員会(CEDAW)は2003年、2009年、2016年、2024年と4回にわたって民法改正を勧告しています。

「結婚しても自分の名前で生きていきたい。同姓強制は憲法違反である」と各地で裁判に訴えている人たちもいます。

NHKの世論調査(2024年)では、選択的夫婦別姓に賛成が62%、反対は27%となり、人々のジェンダー意識も確実に変わってきています。

「家事・育児・介護は女性の務め」「妻は夫を立てるべき」「女性はリーダーや管理職に向かない」「離婚したら子どもが不幸になる」「性暴力に遭うのは隙があるからだ」「男は泣くもんじゃない」「女はでしゃばるな」など、人々の心に潜む古い考え方は、時代とともに少しずつ変化してきました。

それでも、まだ古い世代が若い世代に持論を押し付け、生き方を阻むようなことが起きています。身につけてしまった古い「思い込み」に気づき、多様性やジェンダー平等の人権意識を育みながら、だれもが自分らしく暮らせる社会をつくっていききたいものですね。

<プロフィール>

1951年1月、広島県生まれ。大学や看護専門学校で非常勤講師(社会学・心理学・人間関係論・家族関係論・ジェンダー論)を勤める傍ら、行政の相談機関で心理相談・スーパービジョン、県内外で講演・相談員養成や研修を行ってきた。NPO法人「子どもシェルターモモ」理事。岡山市「出前」性教育講師。倉敷市「デートDV防止事業」講師。岡山県教育委員会人権教育講師。「女たちのおしゃべり会」主宰。



専業主婦から 社長職へ ～社員とともに「100年企業」を目指す～



大和クレス株式会社
代表取締役社長 林 美佐さん

【プロフィール】
平成30年4月 大和クレスに入社。令和元年12月
代表取締役社長に就任。岡山商工会議所青年部、
岡山県ものづくり女性中央会に所属し活動。甲南
女子大卒。

女性社長が年々増えており、民間調査機関によると
全国で61万人余りいるとみられている。そうした中で、
岡山市中区に本社を置くコンクリート製品製造販売
大和クレス社長の林美佐さん(46)も、父親の急逝に
よって専業主婦から一転して、社長に就任。社員と一緒に
社内改革を進め着実に業績を伸ばし「100年企業」を
目指している。社長就任のいきさつや仕事と子育ての
両立などについてお聞きした。

一 大和クレス株式会社はどのような会社ですか。

祖父が、昭和39年、大和コンクリート工業という社名で創業し、父の
社長就任時に大和クレスに社名変更しました。プレキャストコンクリート
製品(生コンクリートを原材料として工場成型した製品)の開発、
製造等を行っており、道路わきの側溝、水路、トンネル等の製品を扱って
います。従業員は約250人で、9割が男性です。

■ 青天のへきれき

一 社長就任の経緯を教えてください。

家業に女性はいらなと言われて育ってききましたので、私自身は、
大学を卒業し、建設コンサルタント会社や小児科医院で事務をしたのち、
専業主婦として生活をしていました。平成29年父が急に体調を崩し、
1週間後に亡くなりました。すぐに後継者の話になり、女性の自分には
無理だと思っていましたが、私しかいないという状況になりました。
この業界の知識がなく、会社の状況もわからなかったため、最初は
事務員として入社し、令和元年12月に社長に就任しました。

一 女性の自分には無理だと感じていた中での社長就任。 そのときの心境はどうでしたか。

そのときは無我夢中でやるしかないという状況でした。当時2歳の
子どもは大丈夫なのかという不安と、社会に出る不安の両方が頭の中を
グルグル巡って…。仕事のことは何も分からず、社員からどう思われる
だろうかと正直怖かったです。

一 その不安をどうやって乗り越えられたのですか。

一番不安だったとき、新聞で、ダイヤ精機株式会社社長、諏訪貴子
さんの著書を紹介する記事を見つけました。自分と境遇が似ていたため、
すぐ本屋に行き、買って読みました。「すごい人がいる。私にもできる

かもしれない」と、背中を押してくれたのがその本だったのです。
その後も、つらいことがあるたびに読んで、何度も励まされました。

■ アンケートから進めた社内改革

一 入社した当時、どんな印象でしたか。

女性社員はお茶くみをはじめ、受付、電話対応、事務の仕事に
限られていることにびっくりしました。性別で仕事をわけるのは
おかしいと思いましたし、女性社員からも、もっと新しいことがしたい
という声が多く聞かれました。社長就任後、仕事について、社員全員に
アンケートを取り、すべての意見に返事をしていきました。その
結果、社員らは、会社が変わろうとしてくれる、自分たちのことを
考えてくれていると感じたみたいです。

一 社長就任後、取り組んだ社内改革を教えてください。

会社を変えていこうとしていく中で、何か新しいことをするときには、
社員たちから話を聞いて、皆を巻き込んで行動しました。例えば
1時間単位で有給休暇をとれるようにするなどの制度を見直したり、
業務評価制度を取り入れたりしました。また、見積もり・在庫管理・
売り上げ・配車等が一括管理できるシステムを導入し、業務の効率化を
図りました。人事については、新入社員を採用する中で、30年ぶりに
女性の総合職での入社もありました。

— そのほかの社内改革(一部) —

- 本社の職場をワンフロア化するなど
職場環境のリフォーム
- SNSの活用で、スケジュール管理を共有
- 社員の身だしなみを整えやすくするために、
ノンアイロン素材の作業着を採用
- 若手人材育成のため、違う部署への異動



■ 周囲の人の協力と優しさで

一 仕事と子育ての両立について教えてください。

入社した当時、子どもは保育園に入ることができず、3年保育の
幼稚園に通うことになり、母にその送迎を頼みました。朝、子どもを
起こす7時までの数時間で家事と、子どものお弁当作りをすませ、
それから、今日一日の仕事の予定を頭にたたき込んでいました。
夜遅くまで会合がある日もあり、今に至るまで、家で子どもと一緒に
ゆっくり夕食を食べることはできていません。

一 子育てにおいては、葛藤(かつとう)もあったと思いますが。

子どもが3歳までは自分の手元においておかなくてはいけないと
いう思いがあり、幼稚園の副園長先生に相談したら、「子どもとかか
わる時間の長さや愛情の深さは比例しないよ。ちょっとでもいい
ので、時間を作って、今日困ったことはなかった?と、聞いてあげて
ください」と言ってくださいました。それは、今もずっと大切にしている
言葉です。また、おやつに手紙をつけたり、昼休みのちょっとした
時間や夜の会合に行く前に家に帰って子どもの顔を見て話をしたり、
習い事や幼稚園のお迎えに行けるときは行くなど、一日のうちに
1回も子どもが私の顔を見なかったという日がないように心がけ
ました。それでもいろいろ悩ましいことがあるときは、仕事関係の
グループの女性同士とか幼稚園のママ友と話をすると、私の話を
聞いてくれて、皆さんからも様々なお話が聞けて、すっきりします。
できないことがあっても、人に助けを頼むのがいまだに苦手なの
ですが、周りの人が、いろいろ察して協力してくれる、その優しさが
身に染みることが多いです。

一 お子さんが今、小学4年生。

今後の子育てはどのように考えていますか。

これから成長していく子どもには、今までとは違った質の注意を
払いながら、寄り添いたいです。いざというときに「ママ助けて」って
遠慮しないで言ってもらえるような雰囲気を作りたいと思って
います。



■ あきらめず、とにかく動くこと

いろいろな事情で家事や育児・仕事、自分のしたいことなどが、
思うようにできなくて悩んでいる方はたくさんいると思います。
そういった方々に一言お願いします。

やりたいことがあるのなら、我慢しないでほしいと思います。やり
たいと思ったら動いてほしい。あきらめてほしくない。「これだけはやり
たい」と思うものをみんなにも見つけてほしいです。そこにたどり着く
までに、今はできないし、動けないかもしれないけれど、何をしていたら
いいかを考えて、いつでも動けるように、「今できる準備」をしてほしい
と思います。

一 会社経営において、男女共同参画という視点で、 お考えがありますか。

女の人はもっと外に出てほしいです。様々な生活の変化があっても、
仕事をそのまま続けていけるのが理想だと思っています。例えば、産前
産後の体調不良時に在宅ワークができるようにするなど、安心して
働ける環境の整備が必要だと考えています。また、普段から職場内で
コミュニケーションをとり情報を共有することや、部署異動を積極的に
行い多様なスキルを身につけておくことなど、突然誰かが休んでも
困らない状況を会社として作っておくべきだと考えています。このことは、
女性だけでなく社員全員にとって働きやすい環境を作っていくことに
つながると思っています。

■ 目指すところは

一 今後の会社の目標を教えてください。

昨年、おかげ様で創業60周年を迎えることができました。また、
令和5年度売上高が86億円でした。これから、社員一丸となって「100年
企業」、そして売上高100億円を目指していきたいと思っています。
そのために、自ら動くことを意識し、常に前向きな気持ちで進んでいき
たいです。



(この紙面は令和6年9月DUO編集委員がインタビューしたものです。)

子育て支援に関する情報

♥ おかやま子育て応援サイト
「こそだてぼけっと」

<https://www.city.okayama.jp/kosodate/>



♥ おかやまし
子育てアプリのご案内

<https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000048987.html>



♥ さんかく岡山
託児室について

<https://www.city.okayama.jp/shisei/000005401.html>



X(旧Twitter)でも情報を発信 #さんかく岡山

告知 さんかくウィーク 2025 岡山市男女共同参画推進週間

テーマ▶「Be colorful! 自分らしく輝ける未来へ」

記念イベント▶2025年6月22日(日)

令和7年6月21日から27日を「さんかくウィーク(男女共同参画推進週間)」と定め、前後1週間を含めた約3週間の期間中、男女共同参画への理解を深めていただくためのイベントを開催します。詳しくは5月上旬に、女性が輝くまちづくり推進課ホームページやさんかく岡山、区役所、公民館などで配布するチラシをご覧ください。

※さんかくウィーク期間中は、上記日程以外にさんかく岡山、公民館、図書館など市内各所で様々なイベントを開催いたします。

過去のさんかくウィークで
開催したイベント



令和6年度
表彰事業者の
ご紹介

男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰



▲ 過去に
表彰された企業

岡山市は雇用の分野における男女共同参画の形成の促進を図るために、積極的に取り組んでいる事業者を表彰しています。

株式会社中国銀行

仕事と育児・不妊治療の両立支援や、男性育休100%取得の推進など、性別等にかかわらず誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。また、次世代女性リーダーを育成する研修の実施や、管理職及び役員への女性の積極的な登用など、女性の活躍促進に関する取組を実施しています。

このように、ワーク・ライフ・バランス及びダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいることを高く評価いたしました。

株式会社竹中工務店岡山営業所

これまで女性が少なかった作業所における「施工事務責任者」へ女性従業員を積極的に配置しています。また、工事現場の作業所に女性専用の休憩所やトイレを設置するなど女性従業員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

このように、女性の活躍促進に積極的に取り組んでいることを高く評価いたしました。

編集委員の ちょっと一言

800年前に男女平等論

道元——日本曹洞宗の開祖であり、永平寺を開創したことで知られる。鎌倉時代に既に近代的視点で男女平等について説いている。「仏道において男女貴賤(きせん)を選ぶべからず」「男女に差をつけることもなく、男か女かを問題にしてはならぬ」と戒め、女人禁制については「いわれのない女性差別だ」と、廃止を訴えている。実に800年ほど前のことである。

道元が実在しておれば現在の男女の格差社会にどのような評価を下すであろうか。(藤田 学)

所変われば品変わる

2023年に岡山市に転居してきました。国内でも場所によって常識や慣習もわりと違うものですね。皆さんは「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」をご存知ですか? 2024年の岡山県は、行政、教育、政治では全国上位ですが、経済では29位と平均以下でした。岡山県の当たり前も、他県から見ると常識ではなかったりするのかもしれない。各項目の評価の理由も掲載されているので、ぜひ検索してみてください。(水ノ上 智邦)

安心して暮らせる社会へ

林美佐さんの言葉「諦めてほしくない」にとっても勇気をもらいました。ライフイベントの変化で 選択肢が限られたり、働き方が変わらざるを得なくなったり。私自身もそのような状況に不安や戸惑いを感じることがあります。しかし多様な働き方や生き方を実現するために、社会や会社が動き始めていることを改めて実感しました。課題はあるもの手を差し伸べてくれる人やサービス、会社や制度はある…当たり前前のごとく認知、享受できるような社会に進んでいけたらと願います。(室谷 亜貴)

ポジティブな議論

編集委員をさせていただき、どうすれば男女共同参画に興味を持ってもらえるか、みなさんとポジティブなお話ができました。無意識の思い込みや偏見が自分自身や他者に対してもあることを実感し、DUO50号を手にとっていただいた方にも、世の中にあふれるバイアスについて考えるきっかけや学びのひとつになっていたらうれしいです。(吉井 朋)

多様性が必要

先日、旧人類がそこかしこに家族集団で散らばり、何故滅んだのかを推測する番組をみた。各々の集団が数を減らし遺伝の多様性を失ったため、緩やかに減んでいったとあった。今の日本にもつきつけられている現実のようにも思う。(吉田 彩子)

「初めて知った!!」「詳しく知れた!!」 「わかった!!」「できた!!」「心が動いた!!」

令和6年度「さんかく岡山」主催事業

さんかく岡山では、男女の自立・男女共同参画の促進を願い、さまざまな世代性別の方々を対象にした講座やイベントを開催しています。令和6年度のさんかく岡山主催事業の中から抜粋してご紹介します。

令和6年度
主催事業の詳しい内容

今後の情報は、
X (旧Twitter) から
随時発信

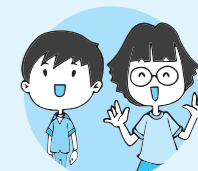
#さんかく岡山



子どもさんかくゼミ

子どもさんかくゼミ・出前講座

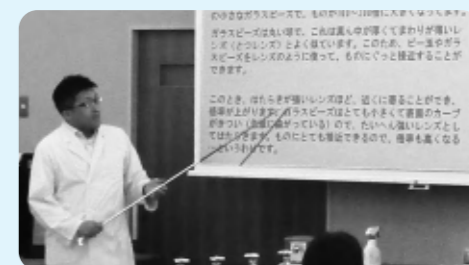
夏休み、市内の学童クラブ・放課後児童クラブで、自分や周りの人の大切な命を守るお話や身の回りの不思議を学ぶ講座を開講しました。今年度は、自分のからだ・こころを守る大切さや、音の正体をつきとめるといった内容について、子どもたちは目を輝かせながら活動に取り組みました。



夏のリコチャレ応援プロジェクト

「もっともっと理科が好きになる実験講座」

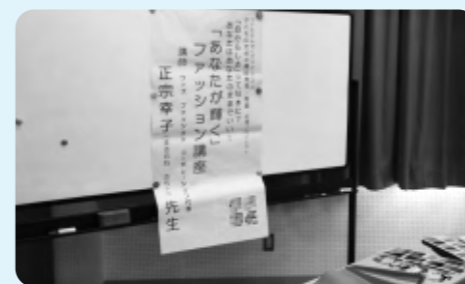
小学校高学年女子対象で、就実大学薬学部の先生方のご協力のもと、理工系の内容の講座を開催しました。「え、不思議! そういうことか! わかった!!」という新たな気付きが子どもたちの心に残り続け、将来大きく花開いてほしいものです。



子どもの興味発見・発掘応援プロジェクト

「あなたはあなたのままでいい! あなたが輝くファッション講座」

男の子、女の子にとらわれず小学校高学年対象に、講師のファッションコンサルタントの方から、パーソナルカラーを中心に、自己表現について学ぶ講座を開催しました。選んだ色が似合う色が確かめる活動では、子どもたちは、鏡に映った自分の姿を真剣に見つめていました。子どもたちの興味関心が、さまざまな固定観念にとらわれず、広がってくれることを願っています。



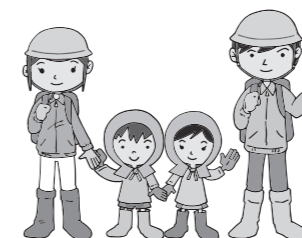
■岡山市男女共同参画大学「さんかくカレッジ」基礎コース・専門コース

「さんかくカレッジ」は、平成12年度より毎年開催している、「さんかく岡山」の主催事業です。男女共同参画について、広く基礎的な知識を学ぶ基礎コースと、分野を絞り深く学びさらなるレベルアップを図る専門コースがあります。今年度も次のように、様々な講座を実施しました。

さんかくカレッジ基礎コース

市内の公民館とコラボして「さんかくカレッジ基礎コース」を開催しています。今年度は4つの公民館で実施しました。どの講座も、大変興味深い内容で、各会場の参加者が、真剣に講演に聴き入ったり、和気あいあいとグループ討議を行ったりしました。

- 瀬崎公民館 人生を豊かにしていくための秘訣!
- 瀬戸公民館 令和の終活~「重い」が「軽い」に変わるまで~
- 京山公民館 防災を多様な視点から考える~誰も置き去りにしないために~
- 大元公民館 みんなが困らない防災~男女共同参画の視点から~



さんかくカレッジ専門コース(前期講座・後期講座)

様々な時代の流れに沿って、年度ごとにタイムリーなテーマを設定し、男女共同参画についての知識理解を深めたり、望ましい社会のあり方について考えを広げたりしています。

令和6年度さんかくカレッジ専門コースのテーマは、「そのときみんなが被災者になる~自分たちの暮らしを自分たちで守り、互いに支え合うために~」。前期講座では、いざ、災害が起きたとき、被災者として何を重視し、どのように発想転換をし、どう動けばよいのか。これからの防災対策について、男女共同参画の視点で考えるとともに、一人一人が自ら考えて行動できるよう、互いに支え合える地域づくりができるよう、学びを深めました。後期講座では、より自分事として防災を考えるために、受講者一人一人が、マイタイムラインの作成を行いました。

これからも、多くの方に受講していただくことで、身近な家族や地域から、男女共同参画社会を推進して下さる人材育成をめざしていきます。

岡山市男女共同参画社会推進センター

さんかく岡山を利用しませんか

「さんかく岡山」は、年齢や性別を問わず、どなたでもご利用いただけます。岡山市の男女共同参画を推進するための活動拠点であり、様々な講座やイベントも開催しています。お気軽にお立ち寄りください。



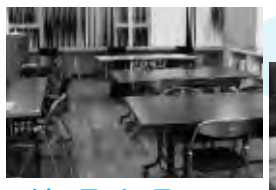
会議室 (有料・要予約)
最大100人までご利用いただけます。



図書コーナー
1回5冊まで。貸出期間は2週間。話題の本も置いてあります。



ミーティングルーム (無料・要予約)
3名以上10名程度のグループでの会合・趣味の集まりなどにぜひご利用ください。



フリースペース
趣味・ちょっとした休憩にご利用いただけます。自習スペースとしても使用できます。キッズコーナーもあります。



展示ギャラリー (無料・要予約)
趣味の作品展やパネル展などでご利用いただけます。



情報コーナー
さんかく岡山開催の各種講座のご案内、関連機関のイベント企画等情報満載です。



託児室 (有料・予約制)
生後6か月～就学前のお子さまを3時間までお預かりします。



ご利用について、
詳しいことはお気軽に
「さんかく岡山」に
お尋ねください。

住所 〒700-0822
岡山市北区表町三丁目 14-1-201
(アークスクエア表町2階)
電話 086-803-3355 **FAX** 086-803-3344
電子メール sankaku@city.okayama.lg.jp
ホームページ

<https://www.city.okayama.jp/0000005879.html>

※ 最新の情報は、X (旧Twitter) から随時発信しています。#さんかく岡山

開館時間 月・水～土／9:30～20:00
日・祝／9:30～17:00

休館日 火曜日、年末年始 (火曜日が祝日の場合は開館し、次の平日が休館となります。)

